

整理番号	31-4	事務事業名	大曲ふれあいプラザ施設管理運営事業	作成部署	経済部工業振興課	電話	内線860・861
事務区分	自治事務	法定受託事務		部長職名	池上 俊廣	課長職名	相馬 正人
事務事業開始年度	H7年度	根拠法令等	北広島市大曲ふれあいプラザ条例・北広島市大曲ふれあいプラザ条例施行規則				
〃 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	大曲ふれあいプラザは、大曲地区の地域特性(市が計画的に実施してきた工業団地と民間による住宅開発によるまちづくり)を活かし、企業と地元住民の協調・交流の場としてH7年に建設されたものである。当初は市が直接施設を管理していたが(非常勤職員により対応)、平成11年度より公共的団体である(社)北広島市シルバー人材センターに施設管理を委託している。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	力強い産業活動が展開されるまち	(第6章)
	節	工業	(第2節)
	施策	企業の育成	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	大曲ふれあいプラザ利用者 企業(企業で働く人びと) 市民(地域住民)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	以下の用途を持つ大曲ふれあいプラザを企業や市民が快適に利用できるようにし、ひいては地域経済の振興並びに市民の生活文化の向上及び福祉を増進するため、同施設の管理運営を行うものである。働く人びとの研修・情報交換の場 異業種交流の推進を通しての企業の製品や技術力の普及・啓発の場 企業と住民の交流の場 地域住民のコミュニティ施設としての場	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	以下の施設管理業務を公共的団体(社団法人北広島市シルバー人材センター)に委託している。施設の使用管理に伴う申請書の受理及び許可書の交付 施設使用料の積算及び納付書の発行 施設管理業務日誌・利用状況等の作成 施設内の日常清掃等の維持管理及び消耗品の適時な交換や補充
		17年度	以下の施設管理業務を公共的団体(社団法人北広島市シルバー人材センター)に委託している。施設の使用管理に伴う申請書の受理及び許可書の交付 施設使用料の積算及び納付書の発行 施設管理業務日誌・利用状況等の作成 施設内の日常清掃等の維持管理及び消耗品の適時な交換や補充 施設の保守点検業務(電気保安等一部業務を除く)

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	171	153	160	160
	一般財源	7,469	7,164	7,112	7,112
	合計	7,640	7,317	7,272	7,272
人件費(概算)	人数(年間)	0.30	0.30	0.30	0.30
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	2,700	2,700	2,700	2,700
総事業費 +		10,340	10,017	9,972	9,972

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	利用団体数・人数(企業)	282団体(8,058人)	185団体(5,349人)	200団体(7,000人)	200団体(7,000人)
	(その他)	724団体(9,099人)	954団体(11,094人)	800団体(10,000人)	800団体(10,000人)
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	[代替指標]				
	利用団体数・人数(企業)	282団体(8,058人)	185団体(5,349人)	200団体(7,000人)	200団体(7,000人)
	(その他)	724団体(9,099人)	954団体(11,094人)	800団体(10,000人)	800団体(10,000人)
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	総事業費 / 利用人数	603円 / 1人あたり (10,340千円 / 17,157人)	609円 / 1人あたり (10,017千円 / 16,443人)	587円 / 1人あたり (9,972千円 / 17,000人)	587円 / 1人あたり (9,972千円 / 17,000人)

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	公共施設指定管理者制度導入の可否が施設の管理形態を大きく左右すると判断される。また利用面では現在大曲地区に建設中のコミュニティセンターの稼動によって本施設の利用状況にも大きな影響があると考えられる。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	地域経済の振興や市民の生活文化の向上・福祉の増進が目的の施設であり、市が管理すべき施設である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	地域経済の振興や市民の生活文化の向上・福祉の増進という目的は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現在施設管理を公共的団体に委託しているが、さらに人件費や管理に要する経費を節減する必要がある。	経費節減策として、公共施設指定管理者制度を導入すべきである。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	現在は政治活動や宗教活動に使用する場合のみ有料であるが、利用者意識を醸成するという観点からも、今後一部有料化を検討する必要がある。	企業以外の一般利用について有料化する。

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	設置目的として意図した成果は概ね上がっていると考えられるが、企業利用を今後さらに促進する必要がある。	大曲地区の企業を中心に本施設の周知を図る。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	現在の委託形態は概ね効率的であると考えられるが、今後施設の老朽化等による維持補修費用の増加が見込まれることもあり、さらなる経費節減策が必要である。	経費節減策として、公共施設指定管理者制度を導入すべきである。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	人件費や管理経費削減の観点から、公共施設指定管理者制度の導入を進める。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり、指定管理者制度の導入を検討する。また、一般利用の有料化についても検討すること。